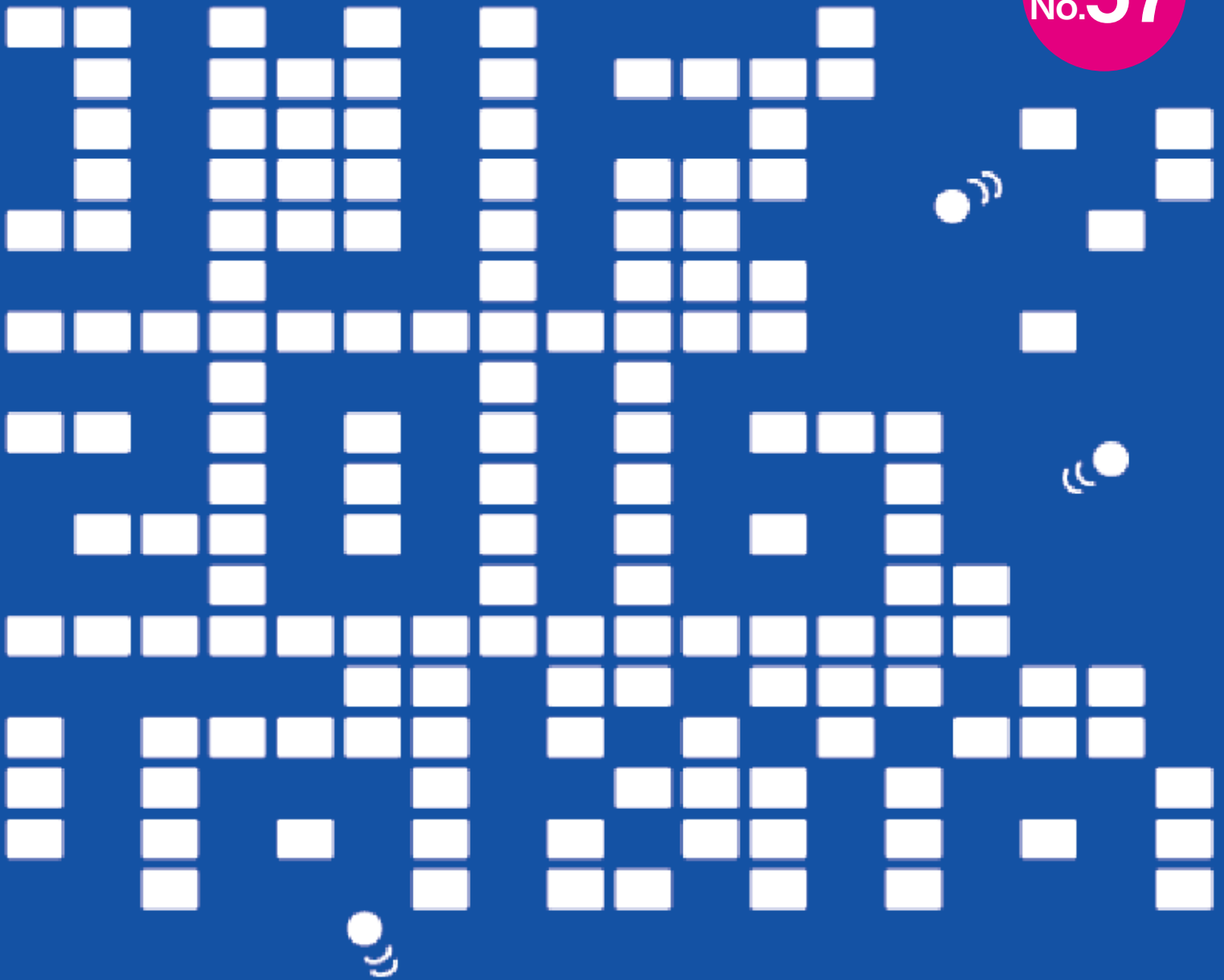


Shall We Juggle?

日本ジャグリング協会オフィシャルマガジン

No.57



JJF2016 東京特集



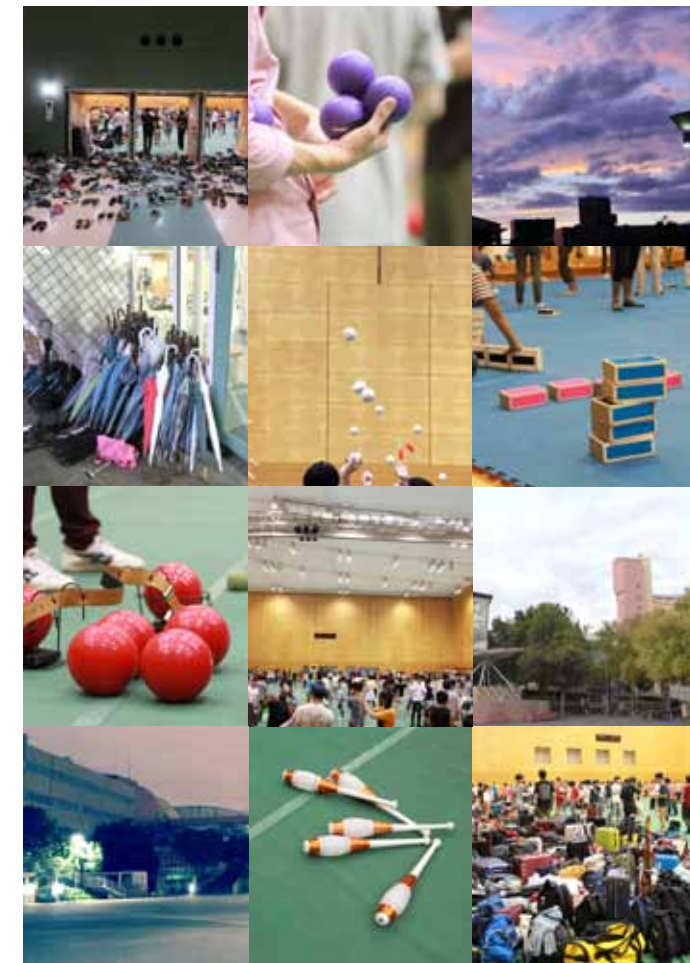


JJF2016 東京特集

参宮橋駅からの道のり。JJFの常連さんは、雨の中でもすいすいと。初めての人はちょっと不安で、前に行く人の荷物にジャグリング道具を見付けて安心したりしながら。JJF2016はその道の先、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。参加したみなさんそれぞれにとって、どんな帰り道になったのでしょうか？この特集で振り返りながら、思い出してみてください。

もくじ

JJF2016東京特集	3
実行委員長より	4
JJF2016チャンピオンシップ	6
JJF Championship 2016 Photos	12
JJF2016チャンピオンシップ入賞コメント	14
ゲストインタビュー COMPAGNIE Defracto “Flaque”	16
2016みんなのJJF	20
Welcome to JJF！！	22
開催ワークショップ一覧	24
JUGGLING JAM SESSION in JJF2016	25
エンデュランス競技会報告	26
小林劇場	26
体力測定	27
JJF2016感想	27
東京マトリックス	27
実はこんなこともやっていました！	27
ハットブレイクアウトを開催して	28
ジョグリングクロマトグラフィー — 技の難易度を客観的に評価する —	28
2016年度 第14回 広幡杯・夏目杯	29
理事会から	30
JJF2016 実行委員名簿	30



たまにっき

「東京」
初めてこの地を訪れた人も、何度この地を訪れた人も、そしてそこに住まう人も。
何かに期待し、何かをつかみ取る場所。
そのような地で今年も Japan Juggling Festival（以下、JJF）が開催されました。

もし、JJF を一言で表現せよ、とお題を与えられるなら、「ワクワクする」という言葉を候補の一つとして選びます。

クリスマスの朝に枕元へプレゼントが置いてあるかもしれないワクワク、待っていた新商品を購入できるワクワク、明日で多忙な日々から解放されるワクワク、好きな人とデートする前日のようなワクワク。

今年の JJF で新しいジャグ友ができるかもしれないワクワク、これまで見たことない技や動画でしか見たことがない技を実際に見ることができるワクワク、厳しい予選を勝ち抜いてきたチャンピオンが生まれる瞬間に立ち会えるワクワク、憧れのあの人に会場で会えるかもしれないワクワク。

いったい何が起こるか分からない、けれど楽しみなこの感覚。
だから「JJF はワクワクする」と、そう表現したいのです。

そんな JJF、どんなに頑張っても全てのイベント参加することはできません。
スケジュールとにらめっこし、いくつかのワクワクを諦めてしまったことでしょうか。
泣く泣くみることができなかったイベントを、当誌で少しでも感じることができれば幸いです。そして、あの日体験したワクワクを、少しでも思い出していただければ嬉しいです。
ぜひ次のページから、今号をお楽しみください。

（カメラを持って三日間走り回る。）
（毎日必ず練習場で出会うジャグリング道具のオブジェ。）
（なぜ人はジャグリング道具で作品を創り出すのか。）
（そうか、これもワクワクの表現方法の一つか…、なんてね。）

たま

開催概要

Japan Juggling Festival 2016 in Tokyo

●日程

2016年10月8日（土）～2016年10月10日（月・祝）

●場所

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター
<http://nyc.niye.go.jp/>

●チャンピオンシップ

2016年10月8日（土）16:00 開演

●ゲストステージ

2016年10月9日（日）18:00 開演

●参加申込み期間

2016年7月30日（土）13:30～2016年8月31日（水）17:00

●参加人数

- ・JJF 参加申込者数：763名（1日参加・全日参加 合計）
 - ・チャンピオンシップチケット申込数：675枚
 - ・パブリックビューイング申込数：168枚
 - ・ゲストステージチケット申込数：667枚
- ※参加申し込み時に先着で人数制限あり

実行委員長より

ハードパンチャーしんのすけ

JJF2016、ありがとうございました！
ジャグラーの熱気溢れる幸せな時間でしたね。

その幸せな時間のために、たくさんの時間と労力を費やして準備し、当日つつがなく進行するよう機動き、終了後にJJFをしっかりとたんでくださったみなさま、ありがとうございました。

ジムでの練習、チャンピオンシップ、ゲストステージ、ワークショップ、様々な企画、宿泊の手配、、、などなど、当日3日間をつくるために、約1年間に渡り、本当にたくさんのひとが尽力しました。各セッションにて、当日までのロードマップを描き、具体的な計画に落とし、組織をつくり、集まったひとたちと共に、当日へ向けて歩を進める。

その過程は、日本ジャグリング協会が今まで積み重ねてきたものを、個人的に、ずしりと感じるものでありました。

そんなたくさんの方の力を合わせてつくったJJFは、みんなで作ったJJF、と言って過言ではありません。

「みんな」というのは、もちろん、直接、運営に関わる関わらないに関係なく、参加者全員のことです。運営からの指示やアナウンスへの多大な協力があり、大きなトラブルなくJJF会期を終えられたことは、参加者の意識の高さとジャグリングへの愛情故でしょう。ご協力、ありがとうございました。

とはいえ、JJFを実行するにあたり、当日まで、そして当日も、人手がいくらあっても困ることはないくらい、たくさんの方のタスクがあるのも事実。

「JJF、楽しかったな」と思ったひとは、できることから構いません。JJFにより積極的に関わってもらえたら、と思います。ジャグリングをするだけのとは、また少し違う楽しさがあるのでは？

そして、ワークショップを始め、数々の企画等のラインナップを見てわかるように、実は、JJFというのは「望めば叶う」場所でもあります。JJFに、少しだけあなた色を足してみませんか。各自の自発性や創造性が遺憾なく発揮されることで、JJFが今後一層良いものになりますように。



予選講評

ミス・サリバン

本年度のJJFCS 2016の一次予選は男子個人部門は21名、女子個人部門は6名がエントリーし、チーム部門は、9組。決勝進出は、男子個人部門8名、女子個人部門3名、チーム部門4組。審査委員は、14名。予選は、14名の審査委員によって行われました。各審査委員は男子個人・女子個人・チームの各演技映像を見て、決勝進出に値するか否かのOK判定を下します。

今年度は決勝出場組数が「原則15、予選状況に応じて12〜18」という規定で、各部門3人以上10人以下の制約のもと、OKの数が多い組から順に15組を決勝進出者として選びました。

部門の人数については、話し合いを行い、決勝進出を決定しました。

評価する審査委員も各々の価値観を持っていますので、私たち審査委員は開催要項に記載されている審査基準をベースとした上で、多様に組まれる演技者のルーティンに対しそこから更に踏み込んだ解釈をして評価する責任を負って審査しました。

今年度は、例年ボールの演目が多かった中、幅広い演目の映像が届けました。そのため予選で決勝に進むには同じ演目の中での競争という事が多かったように思います。

また決勝に進んだ組もバラエティに富んだ演目になりました。

ここ数年、ビデオでの完成度を求められてきた成果により、後ろに写る背景や衣装、音楽等、それぞれ工夫

が見られました。そのため、本番をイメージした映像も見やすく見る側の事を意識してつくられているものが多く、決勝がイメージしやすかったように思います。

ただ、どうしても高さのあるものは遠くからの撮影となりますので、表情や動きが小さく見えてしまいますが、その辺りも映像での審査の難しさ伝わりにくさの部分も審査員はイメージして審査しています。

今回は、「完成度」「難易度」「構成」「エンターテインメント性」「希少性」のいずれかもしくは複数ではなく、すべてを叶え備えたものが決勝に進んだように思います。やはり、完成度や難易度は審査しやすく高得点に繋がると思います。ただ、完成度や難易度が高いという事は、人々をあっという間に驚かすという意味で、それだけでエンターテインメント性も上がります。希少性やオリジナリティと言う所も驚かせるエンターテインメント要素です。エンターテインメント性に触れる審査員が少ないのですが、これは映像では伝わりにくいものです。生で見た時に初めて発揮されるものでもありますが映像でも充分伝わる部分もあります。構成の部分もそうですし、気づいたら音楽に乗っていたとか、笑顔になっていた、興奮していた等がエンターテインメント性の評価に繋がっていると思います。この項目は目に見えない技術でも有り、その時に個々人が感じる所が大きいの

で、難しい審査項目になりますが全体を通して単純に楽しいとか、いつの間にか時間が過ぎていたと感じるかどうかと私は思います。

そういった意味で、5つの項目が完全に振り分けて考える事は難しい部分ではありますが、審査員の中でもその話も少し出たように思いますが、それぞれの審査委員がそれぞれに振り分けた合計点での決勝進出のため、公平に審査されています。

年々JJFCSのレベルが上がり、一般の方にも楽しめるような表現となつて来ています。また、これからますますJJFCSが世界からも注目され期待されていくと思います。

今後は審査される側だけではなく、審査員側にも求められる事は、すべての道具をある程度まで経験してそれぞれの難しさや表現方法をさらに知って行く事も大事かと思っています。

予選の総評として、予選通過を目標とせずに優勝を目指して決勝だと思つてビデオを提出してほしいと思います。自信のある作品を創り、練習して完成度を上げ、本番を想定した衣装や表現でビデオ審査に望んでほしいです。来年は今年以上に完成された映像が届くでしょう。

予選の映像は、決勝審査委員の心の中にも必ず残っており、無意識にJJFCSに影響していると思います。日本のジャグリングの素晴らしさをさらに世界に進進出来るよう、今後をさらに期待したいと思います。



決勝会場客席



入場受付



入場待機列



JJF2016チャンピオンシップ 予選データ

道具の利用数（出場取り消しを除く）

道具	男子個人	女子個人	チーム	合計
ボール	4		3	7
シガーボックス	4		2	6
ディアボロ	3	1	2	6
クラブ	3			3
デビルスティック	1	1	1	3
スタッフ	1			1
クリスタルボール	1			1
メテオ	1			1
ボール・リング	1			1
スピニングプレート	1			1
調理器具	1			1
リング		1		1
傘		1		1
ボイ		1		1
スタンダードリング		1		1
ボール（トス・コンタクト）			1	1
合計	21	6	9	36

予選エントリー

部門	組数
男子個人	22
女子個人	6
チーム	9
合計	37

決勝進出

部門	組数
男子個人	8
女子個人	3
チーム	4
合計	15

予選審査委員

結城敬介、笹野遼平、KaNaTa、ミス・サリバン、たくぞー、藤村保志花、齋藤哲範、ばわあ、chie、フレディ（審査委員長）、北島大輔、中野慧、社長、KiM ※敬称略

決勝講評

KiM

2016年10月8日。2年ぶり5回目となる「国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール」でのチャンピオンシップが開催されました。2011年から数えると6回のJJFのうち4回が、ここで開催されているわけで、そのせいか審査員としてホールの入口に集まった段階から、これまでのチャンピオンシップを思い出し、この後に開催される激戦を想像し心が震えていました。その注目度も年々上がっており、大ホールの700枚近い観覧チケットも即日完売（わずか数時間！）。日本中のジャグラー達が最も注目しているイベントと言って差し支えないでしょう。

そんな中開催されたJJF2016チャンピオンシップ。今年も素晴らしい演技の数々に、観客席の盛り上がりもひとしおでした。我々審査委員も思わず歓声を上げたくなる気持ち在必死で堪えながらの審査でした（一部歓声を上げてました）。

枕が長くなりましたが、ここからは日本一のジャグラーを決める大会の様子と、その中で生まれたひとつの快挙を振り返ることにしましょう。

チーム部門は予選9組中決勝4組（ディアボロ2組、デビルスティック1組、シガーボックス1組）で争われました。優勝したFurtnersはマーク・ス・ファイトナーのオマージュにハイレベルな技を組み込んだコメディタッチなルーティンでした。

チーム部門は複数人で演技をするため、個々の技術はもちろん、それと同じくらいチームとしての統一感が

大事になってきます。今回の出場者は4組とも演技構成の軸がはっきりとしていて、その意識が所作やポーズを含め全体に行き届いていたため、気持ちよく見られる演技だったのではないかと思います。

今後チーム部門での出場を目指す皆さんも、お互いの技練習だけでなくルーティン全体を意識して構成や動きを作っていく事に時間を割いていただけると、ますます面白い部門になっていくのではないかと思います。

続いて女子個人部門ですが、予選6組中決勝3組（デビルスティック1組、ボイ1組、傘1組）でした。優勝の宮脇さんはハイレベルな技にも関わらず、難しさをあまり見せずに全体的に明るく楽しそうな演技で、終始観客席を沸かせていました。

女子個人部門の特徴としては、曲、衣装、キャラクターを含めた世界観の作りこみが3組ともしっかりとしておりとても好印象でした。これは、審査基準でいうところの「構成」に当たります。一見ジャグリングとは関係ない様に思えますが、チャンピオンシップが技を順番に見せ合うのではなく、それぞれのルーティンで競い合うコンテストである以上、曲や衣装も立派な評価ポイントになります。日本ジャグリング界全体で技術レベルが飛躍的に向上している昨今において、予選を勝ち抜き決勝で戦っていくためには見過ごせない要素の一つになるのではないのでしょうか。

続いて男子個人部門です。予選21組中8組（クラブ3組、ディアボロ1

組、デビルスティック1組、ボール1組、スピンングプレート1組、調理器具1組）での決勝となりました。優勝は高橋優弘君。2011年にもチャンピオンシップに出場し3位となるなど、実力は折紙付きの彼ですが、変わらず抜群の安定感と、圧倒的な技術力での満場一致での優勝でした。ちなみに、男子個人部門で満場一致で優勝というのは記録のある2010年以降初めてのことです。本当におめでとございます。

2位の谷岡健人君は過去にチーム部門での優勝経験がありますがソロでは初出場ながらの準優勝と今後が楽しみです。3位は渡辺隼人さん。昨年に引き続きの出場＆受賞でした。オリジナルな技の希少性が高く、また構成や演技自体の安定感もあり貴族のある演技でした。

全体を通して今年はミスが少なく完成度の高い演技が多かったという印象です。チャンピオンシップの決勝という大舞台で普段通りの力を出すためには、相当の練習量が必要になります。全ての出場者に心からの拍手を送りたいと思います。

最後に、今後JJFチャンピオンシップを目標にする方々へのアドバイスになります。ご存知の通り、現在のチャンピオンシップの評価項目は「完成度」「難易度」「構成」「希少性」です。前述の通りジャグリング界全体の技術力が向上している中、今後はこれまで以上に「構成」や「希少性」の項目も重視されてくると思います。特に希少性については難易度の項目とも絡んでくる要素でもある



決勝メダル



決勝会場 カルチャー棟

JJF2016チャンピオンシップ 決勝データ

決勝進出者			時間超過の場合の補正	
男子個人	谷岡海人、KOMEI、加藤侑大、渡辺隼人、高橋優弘、まさやん、谷岡健人、矢口純		超過秒数	補正
			5	-1
			10	-3
			15	-6
			20	-10
			25	-15
			30	失格
女子個人	まい、宮脇友里恵、宿里美緒		決勝集計	
チーム	Apollons、Arlon children、Furtners、とっちーず		項目	集計値
			演技時間合計	1 時間 18 分 11 秒
			制限時間オーバー	2 組
			ドロップ回数合計	61 回
審査結果			決勝審査委員	
男子個人	1位 高橋優弘	2位 谷岡健人	3位 渡辺隼人	
女子個人	1位 宮脇友里恵	2位 まい	3位 宿里美緒	
チーム	1位 Furtners	2位 とっちーず	3位 Arlon children	
			結城敬介、笹野遼平、たくぞー、藤村保志花、齋藤哲範、ばわあ、フレディ（審査委員長）、中野慧、社長、KiM ※敬称略	

審査を行ったのは各部門3位までであり、4位以下の審査は行っていません。順位外の方々の順位点は参考値であり、点数の順番が順位となるわけではありません。また女子部門2位と3位に関しては審査委員の意見が集約できなかったため、開催要項の以下の規定により多数決で決定されました。

■ チャンピオンシップ開催要項 より 優勝者に関する意見が集約されない場合は、審査委員の多数決によって優勝者を決定する。優勝者が決定された後は、同じ手順を繰り返すことで2位、3位を決定する。

【男子個人】												
演順	登録名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	順位点合計 補正 合計
8	谷岡海人	4	4	5	6	5	3	5	5	3	3	27 0 27
9	KOMEI					6	6			6		3 -1 2
10	加藤侑大	6	6	6	5			6	4	5	5	13 0 13
11	渡辺隼人	3	3	3	3	3	4	4	6	2	2	37 0 37
12	高橋優弘	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100 0 100
13	まさやん											0 -1 -1
14	谷岡健人	2	2	2	2	2	2	2	2	4	6	44 0 44
15	矢口純	5	5	4	4	4	5	3	3		4	26 0 26
【女子個人】												
演順	登録名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	順位点合計
5	まい	3	2	2	3	2	2	3	3	3	1	50
6	宮脇友里恵	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	90
7	宿里美緒	2	3	3	2	3	3	2	2	1	3	50
【チーム】												
演順	登録名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	順位点合計
1	Apollons	4	4	3	3	3	4	4	4	4	3	34
2	Arlon children	3	3	4	4	2	3	3	3	1	1	51
3	Furtners	1	1	1	1	1	2	2	2	2	4	73
4	とっちーず	2	2	2	2	4	1	1	1	3	2	62

名前の後の10個の数字が10名の審査委員のつけた1位～6位です。7位以降は空欄にしています。10名の審査委員は匿名で、左からA、B、C、D、E、F、G、H、I、Jさんします。部門によって並べ方が違うので、例えば男子個人部門のA審査委員と女子個人部門のA審査委員は別の人である可能性があります。順位点は1位から順に10、5、4、3、2、1点となります。

チャンピオンシップ総評

審査委員長
フレディ

今年度のチャンピオンシップは、ここ数年の中でも特に注目に値するものだったのではないかと思います。

まず今年は例年に比べて、予選・決勝ともにドロップ数が少なかったのが印象的でした。

決勝では15組中3組が0ドロップ、2組が1ドロップでした。全組のドロップ回数合計も61回と、ここ数年の間では一番少ない数でした。年度によって組数が異なるため単純比較はできませんが、参考までに2015年は73回、2014年は109回、2013年は135回、2012年は123回でした。

また予選では、結果的にはありますが、すべての決勝進出者は1ドロップ以下、そのうち11組が0ドロップでした。念のため申し上げておきますと、あるドロップ数以上の組は予選を通さない、といった審査基準は存在しません。

年々演技の難度が上がっているにもかかわらず、ドロップ数が減っているのは、予選を通過するために完成度が重要視されているのが一因のようには思います。実際、決勝で0ドロップだった組は予選でも0ドロップでした。慣れない舞台で練習通り実力を出すのは大変なことですね。そんな中、一発勝負の決勝でもドロップが少ないのは、近年日本でジャグリング大会が増えていることで、ステージ慣れた人が増えていることも理由の一つかもしれません。

次に、男子個人部門でクラブが3組出場し、そのうち2組が金賞、銀賞と、大変レベルが高かったことが印象的

でした。

男子個人部門でクラブの入賞は2011年以来ぶり、また7クラブの技を決勝で2組も成功させるのは、JJFにおける歴史的瞬間のように思えます。また、審査委員会一致で男子個人部門の金賞が決まったのは、少なくとも過去7年間で初の出来事です。なお女子個人部門、チーム部門は2012年に全会一致で金賞が決まっています。男子個人部門のクラブでのエントリーは来年以降、希少性の点で今まで以上に審査が厳しくなってしまうかもしれませんが、さらにレベルの高い演技者が出てくることを期待しています。

他の道具だと、女子個人部門でのポイント、傘の入賞が、チャンピオンシップでは初めと思われる。ただ順位点を見ても分かるように、この2組の最終的な賞が確定するまで、決勝審査委員の間で長い協議が行われました。

今年の女子個人部門やチーム部門は、予選を含めて層が厚かったように感じます。女子個人部門は6組、チーム部門は9組の予選エントリーがありました。開催要項にある「1部門の決勝進出数は3組以上」の規定があつたおかげで決勝進出した組は いまませんでした。

今年度の予選審査の方法を簡単に説明しますと、まず各予選審査委員が審査基準にもとづいて、決勝にふさわしいと思う組にOKをつけます。OKをつける組数に制限はありません。全員が審査し終えたら、OKの数が多い組から順に、15組を決勝

進出者として選びます。部門ごとの組数は固定ではなく、このOKの数によって変動します。この時、先程の規定を満たさない部門が出た場合は適宜調整を行う予定でしたが、今回は調整なしで決勝進出者15組が決定しました。

なお、予選審査方法は年度によって異なる可能性があります。

さて、ここからは審査委員側の課題を少し述べたいと思います。

今回の予選では、全てのエントリーで合計13種類のジャグリング道具が使われました。いくつかの道具については、その道具を専門とする審査委員がいまませんでした。マイナーな道具であればあるほど、それに精通した審査委員を探すのは難しいのですが、なるべく多い種類のジャグリングをカバーできるように、審査委員候補の人数と多様性を確保するのが直近の課題のように思えます。

また、今回の審査基準には「完成度」、「難易度」、「構成」、「エンターテインメント性」、「希少性」の5つの項目がありましたが、各項目の評価の仕方は審査委員によってだいぶ異なります。例えば「完成度」の場合、ドロップをどれだけ重視するか、軌道の安定性や所作をどれだけ重視するか、ミスした後のリカバリをどれだけ考慮するかは、現状審査委員次第です。これらの評価の仕方を審査委員の間である程度統一したほうが良いのか、それともあえて統一せず審査委員の多様性の一部として残したほうが良いのかは、今後検討していくべき課

題です。

いずれにせよ、チャンピオンシップのコンセプトである、世界に通用するパフォーマーの育成・日本におけるジャグリングの発展を促進できるよう、今後とも改善していきます。

また来年度以降も、よりレベルの高いジャグリングの演技を見れることを楽しみにしています。



決勝審査員 (左から結城敬介、中野慧、はわろ、藤村保志花、たけぞー、フレディ、佐野道平、KIM、社長、齋藤哲郎 ※敬称略)



高橋優弘



谷岡海人



まさやん



KOMEI



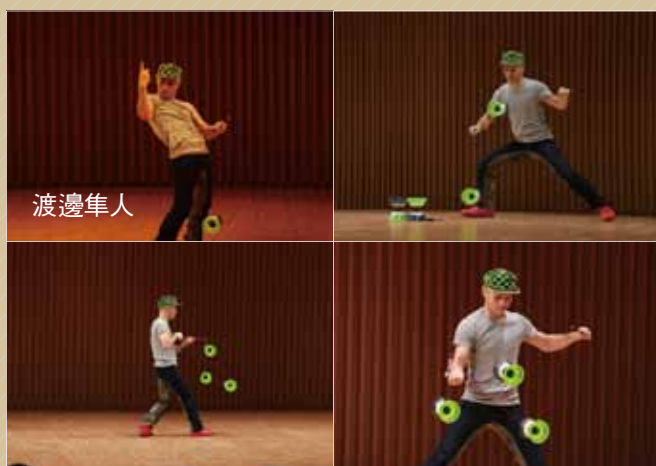
谷岡健人



加藤侑大



矢口純



渡邊隼人



Apollons



Arlon children



まい



Furtner



宮脇友里恵



とっちーず



宿里美緒

JJF Championship 2016

男子部門 金賞

高橋優弘

5歳の時にジャグリングと出会い、これまで長い道のりでしたが、JJF チャンピオンシップで優勝することができました。今でも夢のように、とても嬉しいです。

決して僕1人の力ではここまで辿り着く事は出来ませんでした。これまで応援して下さいた皆様心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



男子部門 銀賞

谷岡健人

演技をやった後はやっと終わったという思いでホッとしてました。昔からよく「健人はセンスがない」言われてて実際自分でもそう思っていました。

なのでルーティンを作るのが嫌で嫌でふて腐れた顔で撮ったビデオを送ったこともあります。ただ楽しくやれたらいいと思ってただけなのにルーティン作りはとてもしんどかったです。それでも一生懸命続けてついに決勝舞台に立ち入賞することが出来ました。運動音痴な僕にとってはとても光栄なことで努力が報われたようで本当にうれしかったです。そろそろジャグ力も文章力も身長も伸びそうにないので、もともと好きなコンバットやエンディランスをたくさんの人と楽しんでいきたいです。



男子部門 銅賞

渡邊隼人

JJF チャンピオンシップの予選動画提出すること6回、本戦出場2回目に、ようやく3位入賞することができました。当初の私の演技は、どちらかというと動かず、静かに、淡々と技を続ける事が多く、審査員の方々から厳しい評価をいただく事も少なくありませんでした。しかし、そういったアドバイスを受け、自身の演技に今一度向かい合い、自分のキャラクターを見つめ直し、技を鍛え、ようやく通過点にたどり着く事ができました。今年で32歳になり、ジャグリングショップナランハという、少しだけ特殊な職業ではありますが、所詮はサラリーマン。仕事との両立、そして年齢的な体力との戦いもありますが、あくまでまだ通過点。これからもトップを目指して挑み、戦い続けられる事に幸せを感じながら、さらなる高みを目指して行きたいと思います。



女子部門 銅賞 宿里美緒



コメントに加え、シングルアンブレラアイドリングの練習方法を簡単に書きます。

この道具をここまで続けられて、今までにないような技ができるようになったのも、学生時代のサークルのメンバーをはじめ、交流会等で声をかけてくださったり、一緒に練習をさせていただいたりした皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。月並みな言葉になってしまいますが、心からそうに思います。今までは見栄えなどを重視した技ばかり練習してきて、切り捨ててきたものも多いので、今後は好き勝手にやれたらいいなと思います。

以下、練習方法などです。序盤から一つ一つの技のハードルが高く、あまり練習が楽しいタイプの道具ではありませんが、持っているだけでカッコいい道具の一つだと思います。傘に興味を持ってくださった方の参考になれば幸いです。

【習得難易度】 今まで教えてきた人の反応をみる限り、デビルのアイドリング<傘のアイドリング≦デビルのプロペラくらいのようです。

【原理】 斜面を転がる物体を、ベルトコンベアのように傘を回すことでその場に留めるイメージです。傘を回すことで物体が転がるのではなく、重力で転がり落ちる物体をその場に留めるということがポイントです。

【回すもの】 最初は紙風船がおすすめです。できるだけ軽くて（50g以内くらいが目安）、重さに偏りのない丸いものがよいです。

【練習方法】 1. 傘の上に回すものを置いて静止させます。置く位置はどこでも大丈夫ですが、中央よりやや外側くらいが目安だと思います。2. 傘を傾けて物体を少し（傘の骨数分進むくらい）転がし、逆方向に傘を傾けて物体を止めることを繰り返し練習します。3. 2が安定してきたら、傘を傾けて物体を転がし、物体をその場に留めるように傘を回します。慣れないうちは物体が外側へ転がってしまい傘から落ちてしまいますが、傘を傾けて中央へ寄せながら回すことができるよう練習してください。以上です。

女子部門 金賞

宮脇友里恵

この度は、JJF2016CS という大舞台に素敵他ファイナリストの方々と共に立てて、しかも金賞まで頂くことができ、嬉しさが胸がいっぱいです。

振り返ると、私は2013年4月、京都大学入学をきっかけにジャグリングを始めました。1回生のときから、過去にJJFCSに出場したドーナツの先輩の動画を観たり、JJF2013CSを観たりしていて、JJFCSへの漠然とした憧れを抱いていました。JJF2013のCSで、場の熱気と高度なパフォーマンスに圧倒されたことは今でも印象に残っています。

CSにでたいと考え始めたのは、2回生の夏あたりです。私は運動神経がいいわけでも、センスに恵まれているわけでもなく、成長も早くない、どんくさいジャグラーでした。ですが、その頃、自分が目標にむかって黙々と頑張ることが得意であり、その執念深さは武器になる強烈な個性だと自覚しました。いざその個性を自覚すると、自分にしかない魅力的な作品を作り上げてみたい、自分にもできるのではないか！という思いを強く抱きました。

それからは、その個性を支えにひたすら細かい作業を積み重ねました。最大の見ええと最小のリスクでデビルの技術をみせるにはどうしたらいいか構成を練ったり、自分の動きや表情のクセ、体格をみてそれらが映えるルーチンになるよう研究したり、腕や足の位置、重心の変え方や歩き方を、撮っては考察を繰り返して一瞬ごとに細かく作っていったり、繰り返し練習してルーチンを安定させたり、そういった地味な作業をとにかくやり込みました。

その結果できた執念の塊みたいなものが、JJFの私のルーチンです。

個性をつきつめて、自分にしかできないと胸を張って言える1つの作品にできたこと。そしてJJFCSという憧れの場で評価してもらえて、皆さんに観ていただけたこと。それらがとても嬉しいです。ありがとうございました。



女子部門 銀賞

まい

JJFCSから2ヶ月が過ぎました。改めて振り返ると、予選を通過した時の驚きや入賞した時の喜びがよみがえります。

私がボイに出会ったのは、千葉大学のジャグリングチームボッサムがきっかけです。始めて2年弱で一度練習を止めていましたが、JJF2016の1年程前に練習を再開し、いい目標になるのではと勧められCSの予選を目指しました。CSは、私にとって初めての大会出場で、ジャグリングのステージに立つのは3年ぶりでした。当日は、出場者の顔ぶれの豪華さに圧倒され、間近で凄技に見入っている間に、あっという間に1日が終わっていました。

有難いことに、CSがきっかけで広がった人の輪が、今でも新しい出会いに繋がっています。入賞したことの大きさを実感しています。

最後に、予選提出へ背中を押してくださった方々、予選を通過してから当日まで応援してくださった方々、そしてCSの運営に携わってくださった全ての皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。貴重な経験ができました。大切な思い出にします。



チーム部門 金賞

Furtners



上野亜揮：僕個人のデビルスティックの演技は、細かい技が多く、なかなか迫力のある演技をするのは困難でした。そんな中で、ペアである平野さんが僕の苦手な部分をカバーしてくれたのが、何よりの勝因だと強く思います。

この演技でデビルスティックの可能性を少しでも感じてくれたらうれしいと思います。

平野武：中高時代から憧れを持っていた舞台に出演でき、またあき君とお互い長い間Furtnersの活動を頑張った結果優勝できたので大変うれしく思っております。

自分は中学からジャグリングを本格的に始めて早11年、なかなかうまくならず、ジャグリングを続ける意欲が薄らぎ、やめてしまおうかと何度も考えていました。そんな中で憧れの舞台にたち、また尊敬していたジャグラーに巡り合えたのでJJFチャンピオンシップを通して久しぶりにジャグリングを続けてきてよかったと思えました。

チャンピオンシップに入賞できたのは今まで自分を支えてきてくれた人たちのおかげだと思っております。この場をお借りしてその方々に感謝の意をお伝えしたいです。ありがとうございました。

チーム部門 銀賞

とっちーず

昔から遠い遠い存在だったJJFチャンピオンシップ。その舞台に立ち、入賞出来たことは本当に光栄です。JJF関係者の皆様、応援頂いた皆様、ありがとうございました。

2015年9月に出産し子育て真っ最中の中、2016年は2人でIJAとJJFに出る！という半ば無謀な目標を掲げました。2015年3月に全日本ディアボロ競技会(AJDC)に出場した際の演技があったので、それを基に出来たことが幸いでした。

一番辛かったのは予選動画の提出です。子供が産まれてからは基本部屋練習でしたので、ビデオを撮るチャンスがありませんでした。私達の演技は高さや広い場所を必要とするので公園か体育館でしかビデオ撮影が出来ません。しかも体育館を使える時間は月3回、1回1時間のみ（仕事で行けなくなる時もあり）だったので。

更にJJF予選動画の提出期間はIJA準備期間とも被っていました。私達は動画作成期間を設け、JJF予選動画を撮る期間は2ヶ月、6時間と決めました。予選動画作成の際には難易度別にルーティンをいくつか作っておき、ルーティンAのノーマスが撮れたら少し難易度の高いルーティンBに挑戦する、という作戦を立て、何とかビデオを作る事が出来ました。予選通過の連絡を頂いた時は本当に嬉しかったです。

本番は練習に比べ少しミスが目立つ結果になってしまいましたが、夢の舞台でとても楽しく演技が出来ました。当日は日帰りの参加だったので、他のジャグラーの方々とあまり交流が出来なかったのが心残りです。

子育てが落ち着いたらまた交流会などにも参加したいと思います。その際にはどうぞよろしくお願いします。

2016 チャンピオンシップ 入賞者コメント

チーム部門 銅賞

Arlon Children



Yu「みなさんお久しぶりです！」

いなば「Arlon Chi」

あきた「Idrenです！」

Y「え、そこで切っちゃう？」

い「いやぁ懐かしいねJJF」

Y（あ、無視されちゃうやつなのね）

あ「まさかまた出れるとは思ってませんでしたね」

Y「ね！2012,13と出させてもらったけど、その後は自然消滅してたよなぁ」

い「WJD in Osakaのゲストに呼んでもらったのがきっかけだったんだよね」

あ「まさかこのタイミングで活動皆無の我々にお声がかかるとは…」

Y「本当に演技できるか会議したよね笑」

い「ゆうくん全く練習してなかったからね」

Y「はい」

あ「でも実際やらせてもらってよかったですね、お客さんも盛り上がってくれて」

い「そうそう、それでせっかくだからJJFも出してみようってなったんだよね」

Y「おれ一番難しそうな技ビルエットで3→4になるやつなのによく通ったよね」

い「それこっちのセリフ」

Y「まあでも2作目のソロパート多すぎって反省活かして演技作ったのは良かったかも」

い「演技中に2人舞台裏捌けるのチームルーティンとしてアレだったよね笑」

あ「あと僕の踊ってみました動画から振り付けをバク…参考にしたのも良くなかったですか？」

Y「おかげで通し練も全然飽きなかった気がする！」

い「そいえばおれら通し練の間基本おしゃべりしてたよね」

Y「休憩でおしゃべりしてて、それを止めないまま練習再開するせいでよ絶対」

あ「いなかくんアイシールド21の高校名とかめっちゃ覚えてたよね、巨深ボセイドンとか」

い「巨深は小判鮫先輩がいいんだよ。みんなでかい中一人だけ小さくてさ、それでも…」

Y「ちょっと話逸れてね？そいえば2人ともメダルどうしてるの？おれは机に飾ってる」

い「んーと、家族写真とかと一緒に置いてるかな」

あ「僕は日常的に首からかけてますね」

い「え？あれ結構重いけど首凝らない？」

あ「慣れちゃえば平気だよ、中学は柔道やってたし結構鍛えてあるから」

い「なるほどなぁ〜」

Y「…はい！以上、Arlon Childrenでした！」



◆チャンピオンシップについて◆
 (シ) イベントの感想を聞いてきたいのですが、まず、チャンピオンシップ(以下、CS)はどんな感想を持たれましたか？
 (E) CSはアメリカでもみたことがあるですが、ヨーロッパではなくてガラシヨイ的なものしかないです。個人的には点数をつけていくのはあまり好きではなくて、闘いのような目の前にジャッジがいて、その人が競技者の落とした回数を数えていくとか、そういったものを観るのはあまり好きではないですね。
 (G) だいたい私も同じ意見です。みんなパーフェクトでありたいとしている、その中で、この人がこつちよりも点数をつけて、どっちがいいと決めていくのはあまり好きではないです。CSとは反対に、どういった人でもシヨイができる、というものはどうでしょうか。ヨーロッパでは、誰でもどんな経歴がある人でも入ってこられる、シヨイができるというのがありますので、そう

いったことは開いていて非常にいいと思っています。
 (シ) そのような場所として、フリーパフォーマンスという、誰でもできる場所があります。ただ、そこらは最近ではCSに出られなかった人が、代わりの発表の場所として披露している、少し競技性が出てきている場にはなってきていますが。
 (G) 誰でもできる、それはいいですね。
 (E) 「通訳者の日本語で繰り返し」ソレハイデスネ。」
 一同 笑
 (シ) そういう場所はやっぱり自由であつた方がいいですね。
 (G) 自分がはじめてたとき、そういったフリーパフォーマンスのような形から始めました。だから、そこではキャリアのある人たちがいたけれども、その中でやらせてもらえたことは、学ぶことが非常に多かったです。そういったスペースだと、例えばCSではいい点数の取れない人でも、その中でもっと感情を与える、作品や演技ができる可能性があります。
 (黒) 私がCSの全体の総指揮をとっています。CSを受けるために彼らは一年間練習して、その成果を発揮しています。そして、CSはニーズがすごく高い大会です。CSに出るために練習する人が、日本にはたくさんいるんです。そして、それを観たい人たちがすごくたくさんいるんです。確かに、私は点数のルールをつくりましたが、点数をつけることはすごく難しく、いろんな問題が絡んでいます。実際、CSは点数をつけません。順位だけはつけ



ます。私もEJCに参加しているもので、オープンステージのすばらしいものだと思っていて、それが、日本人ジャグラーのニーズに合わせて、CSをやらなければいけないという状況が発生しています。その場合、もし、人を評価する状況になれば、皆さんだったら、どのように評価するのがいいと思いますか？
 (E) CSはあまり好きではないといいましたが、反対に見て楽しむものであつたということは一応伝えておきたいと思います。
 (G) CSは、皆さん一生懸命練習された成果であることが分かります。
 (E) だから、それが評価すること自体が難しいです！(苦笑) 一番大事なのは観に来た人に喜びを与えることだから、それを評価することが難しいです。だからジャッジする人によって、その人がどういう喜びを感じるかを表すことになるし、ジャッジが違ったら評価は変わってくると思います。

(G) ですから、自分が感じる感動を評価するのはとても難しいです。非常に合理的な評価の仕方は難しいですね。というのは感動と言うのは個人的なものであつて、観ている人が、全員「わあ！」と沸く場面もあるでしょうし、ボールが落ちたことが、非常に誰かの感動に訴える場面もあるでしょう。それに、衣装が気に入つたということが個人的な感情に訴えることもある、それを一つの観点で評価することは難しいでしょう。だからフリーパフォーマンス的なやり方の好きなのは、自分が観ていて「これ何変なの」と思つても、隣の人が、「わあ、すごいすごい！」と、そういった違う感情が持てることが好きです。
 (た) 点数をつけるのが難しいCSの中で、どの演者さんに一番感動を覚えたとか、感動を受けたというのがありますか？
 (E) 何人もいます！だから反対に一人に金メダルというわけにいかないんです。この人のことがよかったな、というようになります。マシュー？金メダルとつたひと、マサヒロ！あと、かさの女の子！
 (シ) 僕もすごく好きです。
 (E) コウメイアオキも好きですね。
 (G) ばくはみんな好きでした。それぞれ違うから、それが好きでした。それ以外でいえばエリックと同じ感じかな。全員一生懸命練習してきたというのがみえました。とてもそれは全員面白かった。誰が勝つたとかそういうのが知らなかったら、もつと嬉しかった。勝ち負けを知らなければ、もう本当にCSはもつと楽しかった。

◆ゲストステージについて◆
 (シ) ゲストステージはやってみたいかがでしたか？
 (E) いまからはいつもしているのとは全然違うことになってしまふのですが、通常の今まで会つてきた観客と全然違つていましたね。ヨーロッパでやつたときに人が笑わないところで、ここでは大いにウケましたし、ここでヨーロッパでやると皆がウケるところで、ここではウケなかつたです。同時にヨーロッパだとここはおかしいな、変だなと思われるところが、日本の観客はそうではないようでした。一方で、日本の観客がこれ変だと思つたところがヨーロッパではそうは思われていない、その感覚のその違いがありました。シヨイとして違うところでウケるのは、シヨイとしてとてもいいことなんでしょうけれど、ただリアクションが今までのものと違ったのでウケるのが大変でした。
 (シ) やっているときはそういう戸



COMPAGNIE Defracto“Flaque”

デフラクト「フラーク」

Defracto (デフラクト)

2008年結成。最初の作品”Circuits Fermes / シルク・ドゥ・フェルメ” (ギヨーム・マルティネ、ミン・タン・カブランによる作品) は、フランスを始め、スペイン、リトアニア、アフリカ、レバノン、モーリシャスなど、世界各地で100回以上の公演を行い、成功を収める。2009年には、Guillaume Martinet (ギヨーム・マルティネ) のソロ作品”Cinetique TOC / シネティック・TOC” が、パリのサーカス・フェスティバル、シルク・ドゥ・ドゥマンで審査員特別賞を受賞。2014年”Flaque / フラーク” 初演。2016年4月現在で、すでに130回以上の公演を、世界各地で行っている。”Flaque / フラーク” は、2015年パリヤドリッド国際演劇・ストリートフェスティバルで、ベスト・サーカス賞を受賞。～JF2016Web サイトより～



ゲスト：Guillaume Martinet (ギヨーム・マルティネ) 氏・Eric Longueval (エリック・ロンジュケル) 氏 (インタビュー中 (G)・(E))

聞き手：JF2016 実行委員長ハードバンチャーしんのすけ・日本ジャグリング協会理事 黒瀬博靖・SWJ 編集部 たまきゆかり (インタビュー中、(シ)・(黒)・(た))

(シ) J F F に来ていただきありがとうございます。
 (G) こちらに来ることができて我々もとても嬉しいです。
 (シ) お二人がくることを発表した時に、「え、デフラクトが来るの！」と日本のジャグラー反響があつて、とても喜んでいました。
 (G) 喜んでくれている、という話を聞いていたので、余計に嬉しいです。でも反対にこわくもあります。
 (シ) 「こわくもある」とはどういうことですか？
 (G) 余計いいものをみせたいと思いますから「こわくもある」。一方で、そういった常にジャグリングと関係している人と関係をもてるということは、とても嬉しいことです。
 (シ) 日本に来ることがわかつて、待つていてくれている人たちがいるということなので、日本語を勉強しなきゃと思いました。日本語を勉強することで、日本の人と交流が持てる、と思つたんです。
 (E) 「日本語で」ワタシハ ドラゴンボール ミマス。」
 一同 笑
 (シ) でも今日はマリオのTシャツを着ていますよね(笑)ドラゴンボールは好きですか？
 (E) 「日本語で」ハイ。」聴いて日本語を覚えるのにドラゴンボールを観ます。
 (シ) 日本の漫画とか、本はよく読まれますか？

(G) 日本語を学ぼうと思つて、日本語の本とか漫画を発見しているところです。坊ちゃんを読みだしたのも、読むことで日本語を理解できるようになると思つて読み始めました。
 (E) 小さいことから漫画を読んでいます(笑) 今ではジブリをみています。
 (シ) 坊ちゃんは好きですか？
 (G) 日本語を学ぶことを楽しんでいる、を楽しんでいるという感じなんです。今は漢字というものを勉強しているの、漢字を見つけて指を差す動作「あ！」「やー」、地下鉄の中で「水！」「ずーっとです(笑)」
 (シ) J F F に来ていただいたの印象はどうですか？
 (G) 非常に組織立つてちゃんとオーガナイズされていると思います。
 (E) ヨーロッパで行われるジャグリングのフェスティバルのときは、技術的なものを教えるとか、シヨイをやるとか、そういったきちんとしたもののがオーガナイズされています。J F F 参加者の皆さんは、非常お腹がすいているという感じが、ジャグリングをみたい、学びたい、そういった勢いがあるように感じています。同時に、どの方も皆さんオープンマインドで我々に対してもだし、他の人に対してもだし、お互いのジャグラー同士で心を開いていらつしゃいますね。
 (シ) そう言ってもらえるのは嬉しいことです。
 (G) そういった意味で、今回J F F に来たのは気に入りました。



観客を笑わせることができると、結果として人を笑わせる材料としていつてきたんです。だから自分たちでやるときに、こうやれば観客が喜ぶだろうってものをつくるのではなくて、とりあえず自分たちの中でそれが感動的だ、自分たちが感動しているから観客も感動するだろうという考え方でつくっています。

(G) あとお互いの相手のやってることを聞いて、それを聞いてやってみるということをしています。2人で何かやってみよう、何ができるか分からないけれどやってみようというので初めています。

(シ) 繰り返しというと、僕の勝手な印象なんですけれど、繰り返しを重ねることがジャグリングっぽいものと思うんですね。そういうものをつくるときに、ジャグリングが物事の考え方に影響を与えていることはありますか？

(E) 多分、そういうこともあるかもしれないです。ジャグリングというのは一つのものとして繰り返し



惑いみたいなものは感じるんですか？

(G) それはないですね。ウケる箇所が異なることは、ある種の驚きではあるけれども、同時に自分たちの心に響くものです。人と出会うことに驚きがある、ですから舞台をやっているのはそういうある種の人たちと出会う驚きを得るためにシヨールをやっています。

(E) シヨールをやりながらより日本人を発見する感じがですね。それに、新しくシヨールの中でどの点が面白いのか発見することができました。

(た) 日本人だからではなくて日本人ジャグラーだからウケたところも、もしかしたらがあるかもしれないね。これとか(脇の下からボールをとばす動作)！

(E) じゃあまた、新しい発見です(笑)

(黒) 私は来週世田谷パブリックシアターも観に行くのですが、とても楽しみです！というのは、色々なゲストをつれてきてシヨールをしてもらったのですが、ジャグラーと一般

人では、シヨールの反応が全く違います。だから来週楽しみます。

(G) 来ていただけるのが、とてもうれしいです。

◆ワークシヨップについて◆

(シ) 今日、ワークシヨップをやっていたら、僕も受けたんですけれどとても楽しかったです。汗をかきました(笑)

(黒) 私も筋肉痛です(笑)

(G) 「日本語で」オツカレサマデス(笑)

(シ) 受講していたみなさんとても喜んでいて、参加者の中には自分のジャグリングクラブで同じようにやってみようと言っていて、非常に喜んでいました。

(G) それを知ってうれしいです。今朝やったのはやはり一つのボールであれ、一つのものの、要素を使っでどういうものが作れるのかという考え方を共有するものです。ですから、今朝やろうとしたのは非常に失敗しそうなことではないけれども、失敗してしまうようなことに味をつけていくようなことです。みんな走って汗だらけになって、走るとそれがエネルギーになるので、それをみるのがとても楽しかったです(笑)

(シ) 参加している人の気持ちがとても高まっていき、自分の気持ちも高まっていく。すごく夢中になれて楽しかったです。

(G) 同じように感じました。最後とっても幸せでした！汗だらけでした(笑) ワークシヨップをはじめるときに「元氣？」って聞いたら、みんな黙っていたのに、最後に「元氣？」って聞いたら、みんな「イエー



多い。練習でも失敗してボールを落として繰り返し、というものですから、きつそうところはあると思います。

(シ) 作品でいうと音楽がすごく印象的だったんです。

(G) そのようにデビットさんに伝えておきます。彼が全部音楽を作りましたし、自分たち三人でこの作品をつくってきました

(黒) 音楽が先ですか？パフォーマンスが先ですか？

(E) 三つ例があります。跳び上がるところは先に音楽がありました。だからそこは、音楽が跳び上がるという気持ちを盛り上げてくれました。(二人横並びでバスするシーン)そこだけがシーンとしてありました。そこにデビットさんが音楽をつけてくれました。(わきを通すところのシーン) わきの下を長く続けてやろうというアイデアだけはあった、だけれどどうなるか分からなかった。そこで何かファンキーな音楽をつくってほしいとデビットに音楽をリクエストしたところ。自

イ!!」と、はじめていました。ワークシヨップを通して、みんなと出会えたと感じたからとても嬉しかったです。

(シ) 感情という言葉が出てきて、ワークシヨップの中でも「感情をこめてジャグリングをするのが好きだ」と話していて、よくはそれがすごくいいなと感じたのですが、そこで今一度好きなジャグリングについて、SWJを読んでいる皆さんにお話をさせていただきたいのですが。

(E) 私が好きなのは、オブジェクト、物体が必ず必要である、そのモノがなければジャグリングが成立しないというのが好きです。そのモノをとってしまっても、何もそこで起こることが変わらない人もいるけれども、そのモノがあることで意味をもたせることができます。そういったジャグリングが好きです。例えば、モノを使うためにからだを妙な形にひねらなければいけない、それによって、物語ができます。だから、そのモノが必要である状況になるよ



分がエリックにスピーカーで音楽をかけるシーンは、音楽が先にありました。音楽と作品として動き自体はあった。そこはじゃあ一緒にしちゃおうと。

(G) だから三人で話をして可能性を探っていた、そしてできた作品です。

(た) 毎年J J Fではゲストを呼んでゲストステージをします。そのゲストステージの影響を受けて日本のジャグリングがまた進化していくので、きつと二人の演技のおかげで、きつとまた素敵な日本のジャグリングができていくと思います。もしかしたら全員こうしている(脇の下からボールを通す動作) かもしれない(笑)

(シ) J J Sでもしていたね(笑)

(G) 一時間しているかもしれないね。

◆JJSについて◆

(シ) JJSはどうでしたか？

(E) とても参加するのが難しいと思います(苦笑) なんか非常に即



うなジャグリングです。

(G) エリックと同じなんですけど(笑) エリックがいったその通りだなと思います。同じことを別のことでいいかえると、私は何か物を触れたということを感じられることが好きです。モノとの関係性がつくられている、そういったものを観ることが好きです。モノを使うことによって、そういったスペースを作ることができ、そこでデッサン、ラインを描くことができます。それによって違う時間を作ることができる。そういったことができるのが、ジャグリングの中で楽しいことです。

(シ) ワークシヨップのときも彫刻、スタチューという言葉がありましたし、そういう美術的なものからくるイメージーションというものもあるのでしょうか。

(G) いえ、僕たちはどちらかというと、文化的にYouTubeとかジムキアリーとか、アニメーションです。アニメーションとかジム・キアリーのような、全て可能っていう、そういうのが好きです。だから何でもかんでも可能になる、何もかも可能になる、そういう世界があるならばジャグリングの中で、こう体を動かしながら、揺れながらジャグリングができるだろうか、でもそれができるよ！とジャグリングをしている。だからさっきの彫刻っていうのも、一瞬止まるだけです。その一瞬止まることさえも、そこだけ一瞬彫刻になります。だから、それは成功することのためではなくて、それをやってみることで。舞台の上で、アニメーションのように体全部ができることを求めているわけではな

い、やってみる、すべて試してやってみることで自分たちの喜びになっている。

(シ) そういう創作するときはどういう風にイメージを共有しているのでしょうか。

(E) それはミステリーだね(笑) どちらかというと本能的なもので。一つのゲームのようなことで、たくさん話します。たぶん人を笑わせるのに、うでを揺らしながらジャグリングしたらどうか、とか。それを試してやってみて、それがアニメっぽいよねという話になります。だからアニメを参考に、ここからこういうようにしよう、ということはずな



(黒) 今回のシヨールでは繰り返しが多いように感じたが、それもそこから来たのでしょうか？

(E) 繰り返しをたくさんやることによって、何かこれは、観客に笑わせることができるんじゃないか、とは考えてはいません。何度も何度も繰り返しやっているうちに、これは

さんあるんですけど…。

(G) 「日本語で」マダマダー！一日中あるから聞いてくれて大丈夫です(笑)

(シ) 最後に一つだけ、日本のジャグラーに何かメッセージをいただけたらと。

(E) ちゃんとビデオをYouTubeにアップしてくれ！

(笑) ちゃんと観ているから！(笑) 一同 笑

(た) みんなに言っときます(笑)

(G) 今までと同じように続けてください。とてもここにいて、ここに来られて嬉しいから続けてください。

(シ) ありがとうございます。

(黒) ありがとうございます。

(G) 「アリガトウゴザイマス。」

(シ) お疲れの中、ありがとうございます。







Welcome to JJF!! 2016

①どこから来ましたか ②JJFは何で知りましたか
③何回目ですか ④印象は？ ⑤チャンピオンシップは
⑥お気に入りのジャグラーは？ ⑦また来たいですか？
⑧日本のジャグラーにコメントを。

今年も海外から大勢のジャグラーが参加してくれました。初めて参加する方、繰り返し参加してくれる方、そして 2006 年にゲストとして来てくださったあの方！今年も編集部がインタビューしてきました。

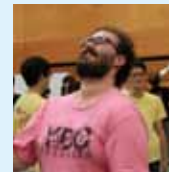
Patrick Padden

①アメリカのコロラド州から参りました。②結構長い間、YouTube で見てました。③初めてでございます。④サイコー！イェーイ！⑤見ました。⑥黒い T シャツのクラブジャグラー。僕の意見では、その人は背が低いからスピニングが速だったんだ。あとは、（お隣にいたはるていさんを指して）新しい友達も「お気に入りのジャグラー」です。僕と練習してくれています。⑦できれば。行きたいです。⑧コロラド州に来てください。僕は Patrick Padden です。私が案内差し上げます。



Aaron Ray Nachsin

①アメリカです。②最初に来たのは一昨年。なので、知ったきっかけは忘れました。③2 回目。一昨年もこのインタビューをしました。④すごくいいと思います。すごく楽しい。⑤はい、見ました。パブリックビューイングで。⑥オレ以外？（笑）チャンピオンシップにも出た。同じサークルに入っているまさやん。⑦絶対に。⑧みんなそれぞれ本当に様々な道具をやっているの、それがいいと思います。



ローリ・アラン ベネット

①カナダの出身です。②僕は YouTube の映像を見てました。JJF の 3 ボールジャグラーとか。それを見てすごいと思って、来たくなった。③初めての JJF です。④みんなとても上手だから緊張して誰にも声を掛けられないかもしれないと思ってた。だけど、みんな優しく、自分のスキルをみんなに教えたくなったから、すごく良かったと思います。⑤残念だけど見ませんでした。⑥（隣にいる Aaronさんを指して）彼以外（笑）。みんなの名前は覚えてない。みんなが大好き。⑦来たら来る。⑧日本語にはお稽古という言葉がありますが、それは日本のジャグラーのスタイルにとっても大切だと思います。どんなことも上手になるんじゃないかと、自分の好きなもので一番になるっていう気持ちが大切です。



Cheung Chun Ning

①香港から来ました。②何年も前、よく覚えてないんだけど、友達が僕に、JJF に行ってみたらどうかって言ってくれたんだ。③2 回目。④パワフルなジャグラーばかりだね！⑤うんうんうん、見た！⑥名前は忘れたけど、背の低い女性ジャグラー。⑦ほんとうに Yes! ⑧喫煙所がとても良かったな（笑）。日本人ジャグラーとたくさん接することができた。ありがとう。



①I come from Hong Kong. ②Many years ago, but I forget maybe my friend told to me, how do you JJF. Many years ago I forget ③Second. ④All is powerful juggler. ⑤Yeah, yeah, yeah. Yes! ⑥I forgot name. We remember, little girl. ⑦HONTOUNI! Yes! ⑧Smoking area is very good. (laugh) Many think to low, spoken ___ for Japan, me from Japan, . . . ARIGATO.



Brian Emmett Wogan

ブライアンさん

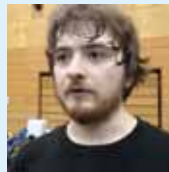
①アメリカのオレゴンから来ました。②去年も来たので。③二回目です。④JJF、すごくいいと思いますよ。今年で日本を離れてしまうので、また来られるかはわかりませんが、また来たいと思っています。毎度楽しんでます。⑤いや、チケットが買えなかったの…。2日で売り切れちゃってましたよね。⑥うーん、たぶん KOMEI AOKI かな。昨日のチャンピオンシップに出たのかどうかは知らないですけど。（編集部注：出ました）フリースタイルを観ましたけど、最高ですよ。武俣平君も、いるのかわからないですけど、彼もすごいと思いますよ。⑦もちろん。⑧とにかく来て、楽しめばいいと思いますよ！新しい友達を作って、新しい技を習って。



①I'm from the United States, Oregon in particular. ②I came last year, and I saw Tony Pezzo, and Cru Cru Cirque, it was awesome, I loved it. ③Second. ④Oh, I love JJF. This is my last year, because I'm leaving Japan soon, but I wish I could come back. It is so much fun everytime. ⑤No, I didn't get ticket. It was sold out in two days. ⑥Maybe, Komei Aoki. I don't know if he performed in championship, but I saw his freestyleing, it was amazing. And I don't think Kohel (Take) is here, but he is amazing too. ⑦I would love to. ⑧Come and have fun. Meet other people and learn new things.

Gregory Loscalzo

①今は横浜に住んでいますが、国はアメリカです。②去年 JJF に来ましたが、その前にも日本のジャグリングについて勉強しました。③JJF は 2 回目。④JJF がとても好きです。みんな本当に、とても優しく、すごく助けてくれる。⑤見ませんでした。チケットを買うのを忘れちゃったから。⑥私は YDC（横浜大道芸倶楽部）に所属しているのですが、このクラブからチャンピオンシップ出場者が出ました。優弘とまさゆき、彼らが一番好きです。⑦また JJF へ戻ってきたいです。⑧ここにいる全ての日本人ジャグラーへ、僕を迎えてくれてありがとう。この集まりに参加させてくれて、そして、快く接して、助けてくれてありがとう。みんなありがとう。



⑧ Thank you everyone for welcoming me to all of Japanese juggler at there. Thank you for welcoming me this community and be in so open and helpful. Thank you everyone.

Loup Pinel

ルー・ピネさん

①フランスから来ました。②YouTube で見ました。③2 年前に来ました。④とてもいい。とてもいい。びっくりする。⑤いいえ。予約が取れなかったんだ。⑥たくさんいる。クラブジャグラーたちは素晴らしい。ボイスピナーたちもすばらしい。⑦Yeah, yeah. ⑧みんな素晴らしいしてオリジナリティのあるジャグラーです。



①I'm from France. ②I viewing YouTube. ③Two years ago. ④Very good. Very very good. Amazing. ⑤No. Because I have no reservation of this festival. ⑥Many juggler. Club juggler is very good, poi spinner is very good. ⑦Yeah, yeah. ⑧（フランス語を協力者の方がその場で訳してくれました）



Ho Yeung Ho

①香港から来ました。②YouTube で。友達が 2014 年に来て、それで僕も今日来たんだ。③④クレイジーなジャグラーがたくさん！とてもクレイジーさ。⑤はい。⑥クラブジャグラーで、白いクラブで…そう、優弘。⑦絶対に。⑧とてもクールだ。そのままクールでいてくれ。



①I come from Hong Kong. ②YouTube. My friends come 2014. Keeping me today. ③④ Many crazy juggler. It's very crazy. ⑤Yes. ⑥Juggler who play the clubs, white color clubs ... Masahiro. ⑦ZETTAINI ⑧Very cool. Keep cooling.

Darren Wakefield

ダレンさん

①イギリスから来ました。②毎年来てま〜す。最初の方は山村佑理を通して知りました。③4 回か 5 回目です④いつもコンタクトジャグラーは少ないですけど、交流するのは楽しいです。⑤毎年観て、出たいと思います。来年も頑張りたいです。⑥今年はまさひろくんですかね。すごすぎてかわいいです（笑）⑦これからずっと日本に住みたいと思っているので、毎年来ます。⑧いろいろごめんなさい。



①I'm from the UK. ②this is my 4th, or 5th? ③Firstly, I got to know about JJF through Yuri Yamamura. ④The festival always has only a few contact jugglers, but it's fun to hang out with them. ⑤Yes, I watch it every year, and it always makes me want to compete again. ⑥This year, it's Masahiro, he was too amazing, scary. ⑦Yes, currently I am thinking about living in Japan for the rest of my life, so I'd like to come again. ⑧I'm sorry for everything...

朴成一

①韓国から来ました。②沈さんから聞いて知りました。③3 回目。④昔からどんどん、準備とかいろんなものが良くなって、レベルが高くなってきているので良かったです。⑤はい、見ました。⑥優弘さん。チャンピオンになった人。すごい。⑦はい（笑）⑧韓国のジャグラーたちのことも、愛してくださいね。



Welcome to JJF スペシャル ピックアップ



マーカス氏
ご家族

Katja Butterweck

カティアさん

①ドイツから来ました。②ジャグラーの友達が、とてもいいフェスティバルだということを言っていたので。③初めてです。④とくにデビルスティックの人がたくさんいるのが、すごいと思います。⑤はい、観ました。すごかったです。⑥うまい人が多くて、迷っちゃいますね。でも私もやっぱり、優勝した女の子がよかったかな。⑦はい（笑）⑧このまま突っ走って、新しい技をいっぱい作ってください！期待しています。



①I'm from Germany. ②I heard from several jugglers that it was a great convention here. ③First time. ④It's really great, especially huge crowd of devilstickers is amazing. ⑤Yes, we went to watch it and it was amazing. ⑥It's really hard to say because there are so many great jugglers. But probably for me also the girl who won the competition. ⑦Yes. lol ⑧Keep going like this, create new tricks, we want to see more!

JJF2006
海外ゲスト

Markus Furtner

マーカス・ファートナーさん

①ドイツです！②TEMPEI に EJC2005 で会って、その次の年に JJF に呼ばれました。③二回目です。④みんな熱心にジャグリングをしていて素晴らしいですね。デビルスティックのうまい人も多いし。⑤観ました。抽選で当たったんですよ。⑥たくさんいますね。あの、今年優勝したデビルスティックの女の子（ブラックさん）と話してみたいな。とても安定していたし、演技中ずっと笑っていたのがよかった。⑦もちろんですよ。次はまた演技がしたいかな。インスピレーションをたくさんもらったので、今度は僕が、コミュニティにインスピレーションをあげられるような気がします。⑧ジャグリングに熱心なその姿勢が、とてもいいと思います。



①I'm from Germany. ②I met Tempei in EJC2005, and the year after I got invited to JJF2006. ③Second time. ④It is fantastic here everybody is so eager to juggle, and there are so many great devilstickers. ⑤Yes, we did. We won the lottery and got the ticket for JJF championships. ⑥There are so many jugglers I like. I'd like to meet the lady who won the competition with Devilsticks. She was very solid and also smiled a lot. ⑦For sure, yes. Maybe for performing again, because now I got so much inspiration and I think also I can give some inspiration to the devil stick community here. ⑧I just like how active they are how eager they are to juggle.

JUGGLING JAM SESSION in JJF2016

今や JJF でも恒例のイベントになりつつある JJS。JJS がどのような競技なのか？
ポイントは何？今一度おさらいしながら、今回開催された JJS の様子を紹介します。



■ジャッジポイント
次の5つの項目を基準に判定します。ジャグリングのスキル・音楽との同調性・オリジナリティ・パッション・バトルの駆け引き

■曲
DJ がランダムに選曲します。HIPHOP、HOUSE、FUNK、SOUL など様々な音楽が流れます。

■本選
予選通過者16名によるトーナメント戦。ベスト16、ベスト8までは1人1ムーブ40秒で行います。先に上がった方が先攻となり、どちらもお出ない場合はバトルスピンにより先攻後攻を決めます。ベスト4、3位決定戦は1人2ムーブ40秒で行います。1人1ムーブずつ終わった時点で曲が変わります。決勝戦のみ1人3ムーブ40秒で行います。勝敗は審査員による挙手で決定します。

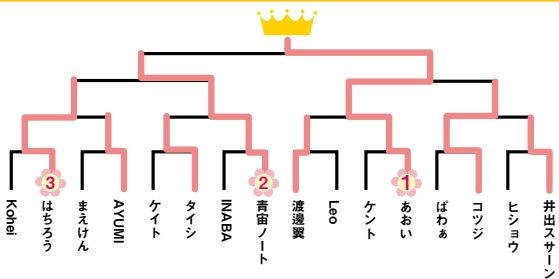
■試合形式
ピックアップ方式で行います。DJの流す曲に合わせて、エントリ順に一人1ムーブ40秒ずつジャグリングを披露してもらい、本戦トーナメント出場者16名を審査員による話し合いで選出します。

JJSとは？
「ジャグリングバトル」ジャグラーが1対1でDJによって選曲される曲に合わせて1ムーブずつジャグリングを合います。ジャグラーには何の曲がかかるかはわかりません。勝敗は審査員による挙手又は話し合いによって決まり、予選を経てトーナメントを勝ち進む競技です。



JJSについて
より詳しい情報が知りたい方は、ぜひご覧ください。
●JUGGLING JAM SESSION オフィシャルウェブサイト <http://jugglingjamsession.wixsite.com/home>
●JUGGLING JAM SESSION Youtube チャンネル <https://www.youtube.com/channel/UCMhctF1n8MoreOJIM3eeWKg>
●Twitter アカウント @jugg_jamsession

1位 あおい 2位 青宙ノート 3位 はちろう



※ JJF2016Web サイトより引用 : <http://www.juggling.jp/jjf/2016/jp/jjs.html>

開催ワークショップ一覧

開催日	ワークショップ名	講師名
1日目	逆立ちの基礎ワークショップ	井出スサーン
	トスナンバーズの練習法 + 個別アドバイス	山本賢哉
	サイトスワップ入門	西野順二
	3 ハットシャッフル入門、その発展	八幡雄士 (ヤハウエイ)
	傘と鞠の曲 入門	くろせ
	実は簡単! 5 ボールカスケード	ぶっちゃ
	Let's enjoy cigar numbers !! ~ 4 → 5 ダンスーズへの入口編 ~	hanehituji
	エンジョイ ハットジャグリング 1 ハット編	トラヨシ
	動きと技の調和 (呼吸編)	渡邊翼
	JJF2016「カワイイ!!」をあつめたい!	うさもみ
2日目	ハットブレイクアウト	トラヨシ
	はじめてのディジリドゥ	井出スサーン
	第6回 JJF マスターズの集い	(主催) 西野順二
	ジャグリングに活かす武道	まえけん
	トークセッション: ジャグリングを考える会 (仮) 『「ジャグリング」というくり方がじゃまするもの』	青木直哉
	ハットは投げるもの?! 3 ハットジャグリング	伊藤康晃 (伊トさん)
	よくわかる! 技のバクリ方入門 ーボールジャグリング基礎と応用ー	コータロー
	スティックブレイクアウト	ナオキ、その他
	『第15回サイトスワップシンポジウム (正式名「[SSSf] : サイトスワップ上級」	(主催) 西野順二
	5 リング入門	石黒大智
3日目	初めてのデュアルデビルスティック	aki
	3poi 入門 (スイング系)	ボイ魔人 (あおい)
	デコデビル制作方法の紹介	いたけん
	シガーボックスブレイクアウト	応地隆明
	女子ジャグラーの集い	みずめ
	ビザ回しを始めよう!	そいそい
	トークセッション: ヨーロッパ最大のジャグリング大会、 EJC に行ってみよう!	青木直哉
	大会で勝ちたいかい?	ひろた
	トリックロープ	松岡寿典
	★ Working on playing	デフラクト
3日目	コンパクト練習会	鈴木
	optica 流動画作成術	Yu
	ベアリングディアボロ応用編	渡邊隼人
3日目	クラブバレーを楽しもう	村上裕亮

★...ゲストワークショップ



実はこんなことも
やっていました！

参加者の感想を募集するため、壁にQRコードポスターを貼り、参加者に投稿してもらうスタイルの企画を実施していました。ポスターは、練習エリアによって合言葉が異なり、どのエリアから投稿されたのか分かる仕組みになっていました。(例：カスケード、火力、etc.) その結果はなんと！！投稿者1名！！来年はSNS展開などを考えながら、皆さんからの感想をたくさん集めたいと思います。投稿して下さった「くーるだうん」さん、本当にありがとうございました。



合い言葉
レインボーループ
ベンネーム
くーるだうん

感想
JJF 楽しい！一番好きな
イベントです！

Thankyou!!

JJJF2016感想

北村友香

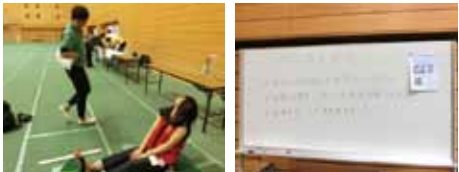
今年の5月からジャグリングを始めて、今回初めてJJFに参加しました。全国・海外からジャグリングをする人が集まってくるJJFは、始めて数か月の私にとって物凄く圧倒されるものでした。人の多さを見て、ジャグリングをしている人ってこんなにいるんだ！と。それに皆さんとても上手で、正直、最初は私みたいな人が来てよかったのかとためらっていましたが、実際は初めて会う人から声をかけてくださって技を教えてもらったり、他大の同じ1年生との交流もあったりして、いつも大学でやっている練習では得られないものがありました。と同時にもっと技ができるようになりたい、こんなルーチンが作りたいたいと思うようになりました。来年のJJFでは、教えてもらうことだけではなく自分をアピールしていきたいです。そしてもっともっとたくさんの人とジャグリングを通して交流を増やしていきたいです。(福岡でおいしいものも食べたいです…。)

体力測定

ジャグリングをすると気が付けば鍛えられている握力、体を動かすために欠かせない柔軟性。ジャグラー同士で競うと、どのような結果になるか気になったことはありませんか？会場内にて、フリー参加の測定会を開催しました。

	握力部門	体前屈部門
トップ	とらさん 65.3kg (ディアボロ・9JUC)	ズメ 35cm (けん玉・NJC)
ブービー	26kg (シガー)	-13cm (クラブ)

※トップ：名前、記録(握力kg、体前屈cm)、道具、所属
※ブービー：記録(握力kg、体前屈cm)、道具



エンデュランス競技会報告

5ボール カスケード

25分 44秒
1：時田郷 (Shangri-La)
2：深澤瑞輝 (infinity)
3：坂拓弥 (JGK)

5ボールカスケード

(女子部門) (参考記録)

30秒
1：らっしー
2：かきざき (SPLASH)
3：田代 (神戸大学 JUG 六)

5ボール シャワー

27秒
1：依田直也 (infinity)
2：たくぞー
3：中野慧

6ボール ファウンテン

33秒
1：中野慧
2：磯部拓海 (じゃぐなぎ)
3：深澤瑞輝 (infinity)

7ボール カスケード

29秒
1：谷岡猛進
(枚岡ジャグリングクラブ)
2：谷岡健人
(枚岡ジャグリングクラブ)
3：中野慧

5リング カスケード

3分 22秒
1：今田亮太郎
2：石黒大智
3：鈴木英人 (ジャグリアーノ)

6リング ファウンテン

8秒
1：松村高朗
2：石黒大智
3：今田亮太郎

5クラブ カスケード

35分 45秒
1：谷岡健人
(枚岡ジャグリングクラブ)
2：谷岡海人
(枚岡ジャグリングクラブ)
3：たくぞー

3ディアボロ ハイトス

2分 4秒
1：石橋信治
2：豊島茂憲
3：磯部拓海 (じゃぐなぎ)

2デビルスティック

クロスアームデュアルプロペラ

9分 46秒
1：中村光遥 (東北大学奇術部)
2：マーカス・ファートナー
3：aki (infinity)

2デビルスティック

アイドリリング

32分 59秒
1：小澤駿弥
(Juggling Donuts)
2：福田省吾 (Possum)
3：矢澤智治 (Possum)

3シガーボックス

レインボーループ

4分 59秒
1：カイン (鹿児島大奇術部)
2：丸山浩宣 (ビルエット)
3：かっしー

4シガーボックス

ダイヤモンドループ

50秒
1：カイン (鹿児島大奇術部)
2：かつべえ (JUG 六)
3：坪野潤悦

8クラブ パッシング

4分 4秒 (大会記録)
1：谷岡健人・谷岡海人
(枚岡ジャグリングクラブ)
2：棚橋・フレディ
(マラバリスト)
3：中野慧・種村裕幸



※敬称略

※7ボールバウンス、2ディアボロハイトス(女子部門)、2デビルスティック プロペラ、9クラブパッシング、10クラブパッシングは、参加者が5名に満たなかったため開催せず。

※6リング ファウンテン、2デビルスティック クロスアームデュアルプロペラは10名以上の参加者からの申し出により開催

東京マトリックス

東京マトリックスのやりかた



開催日時

10月10日(月) 12:00 ~ 14:00

募集要項

東京マトリックスは、JJF2003で開発された超多人数パッシングパターン仙台マトリックスを東京で実現する試みです。みんなで大人数の世界記録をめざしましょう。原理的には100人でも1000人でも繋がるができます。過去の記録(JJF2004)では28名です。クラブをパッシングします。
・タイプ1(みんなでチャレンジ編) クラブ1本が投げ・受けできるかた。
・タイプ2(ガチ記録編) クラブパッシング4カウントができるかた。
みんなでチャレンジ編では、カスケードパッシングができなくても、1本だけのやりとりで参加することができます。できるかぎりの多人数を目指してみましょう。

西野順二



はじめまして。マラバリスト所属の氷見と申します。今回わたしは、西野さんのアシスタントのような感じで、東京マトリックスのお手伝いをさせていただきました。本番はたくさんの参加者に恵まれ、しかもその中に仙台マトリックス(この企画の前身です)を知っている人はほぼいなかっただろうと思うのですが、みなさんあっという間に仕組みを理解して、パッシングを楽しんでいる様子でした。参加者の中にはもちろんクラブパスが得意な人もそうでない人もいますが、一本や二本落としてもそのまま続けられるのが東京マトリックスのいいところです。30人を超える人々が息を合わせてクラブを投げ合うのは、やはり壮観です。多少は落とすのもご愛嬌。全国のジャグラーが集まるJJFならではの恒例イベントとして、今後も盛り上がりつつあってほしいと思います。

氷見哲洋

JJF2016の挑戦イベントとして開催された東京マトリックスは、新記録の46人でフラッシュを達成しました。パスをして90度方向転換して、別のひととパスをし、また回るといったパッシングなので、パス4回360度回れたという記録です。大人数のタイミングを合わせるため、ずっとメトロノームの音を会場に流していました。いったい何だかわからない呼びかけに50人近い人が集まってくれて大変感激でした。初めて開催したJJF2003ではそもそもパッシングできる人数が50人もいなかったと思います。参加した皆さんも疲れ知れずずっと練習に付き合ってくれました。昨今のジャグリングの繁栄をこんな形で身を持って感じる事ができてとても嬉しいイベントでした。次回のチャンスがあれば、50人を超え720度のふたまりで「ジャグル」を達成したいと思います。企画と時間と場所の手配をくださった小林さん、走り回ってアシストしてくださった氷見さん、参加してくださった皆さんに、この場を借りて感謝を申し上げます。

小林劇場

今年のJJFでは小ホールにて、有志によるオムニバスライブが開催されました。300人弱の観客を収容できる劇場はほぼ満席となり、空席を待つほどの盛り上がったイベントでした。多くの方々がそのパフォーマンスを楽しみ、刺激を受けていました。



出演者一覧

ステージネーム(※敬称略)	道具
かとけい	スタッフ
hanehituji	シガーボックス
ウエノアキ	スティック
Daggle KOMEI	リング
ひろた	ボール
渡邊 翼	ディアボロ
アラキナオト	ボール
吉川健斗	ボール
JIN	シガーボックス
D4C	ボール、リング
ケント	ボール

MC・舞台監督

MC	結城敬介
MC	小林智裕
舞台監督	山下耕平

2016年度 第14回 広幡杯・夏目杯



広幡杯

カッキー

受賞理由

「パーフェクトヒューマン・ハイテクシガーの重み」

副賞：neurowear "necomimi"（脳波で動く猫耳）



広幡杯
審査員特別賞

まさやん

受賞理由

「崩壊まで3分だった特注試作皿」

副賞：neurowear "necomimi"（脳波で動く猫耳）



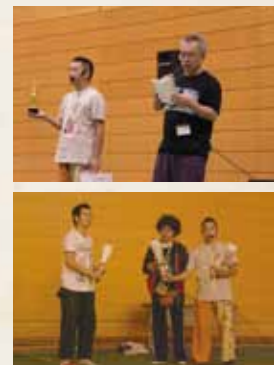
夏目杯

ハチロウ

受賞理由

「止まらない
ジャグリングへの衝動」

副賞：ファットヘッドクラブ



過去の広幡杯・夏目杯

2003	広幡杯	Mr. ドミノ	夏目杯	森田智博
2004	広幡杯	オマールえび ずず	夏目杯	信玄餅 (Komei Aoki)
2005	広幡杯	森俊行	夏目杯	石川丈寛
2006	広幡杯	岡本光平 中村佐和子	夏目杯	小嶋佑樹
2007	広幡杯	パティオの人たち (森俊行 水ノ江恭介 水野祐 古谷創)	夏目杯	岡本晃樹
2008	広幡杯	森俊行	夏目杯	山村佑理
2009	広幡杯	吉中全力と夢トランク	夏目杯	村上翼
2010	広幡杯	チャンネル ppqp	夏目杯	佐藤信春
2011	広幡杯	とらよし	夏目杯	松村高朗
2012	広幡杯	応地隆明	広幡杯審査員特別賞	立谷健太郎
2013	広幡杯	SUN 太	広幡杯審査員特別賞 チーム部門	SUN 太とじゅにあ、 広幡杯審査員特別賞 うさぎのもみじ 広幡杯審査員特別賞 アーロン
2014	広幡杯	宿里美緒	広幡杯審査員特別賞	たくぞー 広幡杯審査員特別賞 森下翔
2015	広幡杯	クロ助	広幡杯審査員特別賞	やどりん

ハットブレイクアウトを開催して

トラヨシ 野洲ジャグリングサークルメロンボール



「ブレイクアウト」とは簡単に言うと、技や短いルーティン等をみんな披露しあう場です。ハットブレイクアウトは、ハットに興味があれば誰でもウエルカム。見るだけでも勿論OK。今年は、参加者全員自己紹介のあとは各自好きなタイミングで既存新規関係なく技が披露され、拍手や「おおー」「うまい！」「あれ絶対難しいぞ…」「そんなアイデアが！」等の歓声がありました。最終的には40以上の技を見る事ができました！



開催した目的は、①みんなの技の披露と共有 ②ハットジャグラの交流 ③（大げさかもしれないですが）日本のハットジャグリングの発展促進の機会、の3つです。JF2008以降その年のハットブレイクアウトの様子は動画OKの方の技だけまとめ「Japanese hat Jugglers」シリーズとしてYouTubeにアップして発信されており、この動画によってハットジャグラに広まった技がいくつもあります。今年も「Japanese hat Jugglers 2016」としてアップさせていただきます。

私は今回のハットブレイクアウトでたくさんさんの刺激を受け、知り合いいも増えました！また、ここで披露することを目標に技を考えていたりして、大きなモチベーションのひとつとなっています。

SSS：サイトスワップシンボジウムから ジョグリングクロマトグラフィー —技の難易度を客観的に評価する—

住田秀樹（セバスちゃん）



「ジョグリングクロマトグラフィー」です。ジョグリングというのは、ジャグリングとジョギングを組み合わせた言葉で、ジャグリングをしながらかジョギングを楽しんだり、またはそれを競技としたものです。クロマトグラフィーというのは、ある物質に含まれる原子や分子を抽出、分離、測定する手法の一つです。対象を液体や気体などの流動する状態にして特定の条件を付けた通路を流したときに、その物質に含まれる様々な分子や原子の性質の違いで流れる速さが違うことを利用して、それらを分離する手法です。身近な例でいえば、川の上流から土砂を流したとき、大きな岩は流れにくいので上流にとどまり、石は中流で、砂は下流まで流れる、というのがイメージしやすいのではないのでしょうか。

	カスケード	シャワー	ミルズメス	ハーフシャワー	1UP 2UP	5カスケード
1位	24	14	11	13.5	13	7
2位	17.5	13.5	10	12	10.5	6.5
3位	17	13.5	8.5	12	10	6.5
4位	16.5	12	7	11.5	9.5	
5位	15.5	11.5	7	10	9.5	
6位	15.5	10	6	9.5	9	
7位	15	9.5	6	8.5	8	
8位	14	9.5	4	8	7	
9位	13.5	9.5	3.5	7	7	
10位	13	8	2	6.5	6.5	
11位	10	6				
平均値	15.6	10.6	6.5	9.9	9	6.7

今回の測定により、ジョグリングクロマトグラフィーという物差しで測った技の難易度は、易しい順にカスケード（15・6）、シャワー（10・6）、ハーフシャワー（9・9）、1UP2UP（9）、ミルズメス（6・5）である、という結果が得られました。

理事会から

日本ジャグリング協会正会員の皆様
役員選挙を10月8日（土）J J F 2 0 1 6 期
間中の総会にて行い、日本ジャグリング協会
の今年度役員が決定しましたのでここに告知
させていただきます。

公示
日本ジャグリング協会正会員の皆様
日本ジャグリング協会の今年度役員候補者
が決定しましたのでここにお知らせいた
します。なお、役員選挙を10月8日（土）
J J F 2 0 1 6 期間中の総会にて行います。

理事候補（6名） ※届出順

・桔梗崇
・植野洋子
・黒瀬博靖
・増田俊康
・本郷仁一
・中村亮介

監事候補（1名）
・松岡寿典

「所信」

桔梗崇氏

2000年にジャグリングを始めて以降、現
在はプロジャグラーとしてジャグリングに携
わっております。2000年当時と比べ、多
くの発展をしてきた日本のジャグリング界で
すが、その反面多くの課題があると感じてい
ます。さらなるジャグリングの発展の為に、
少しでも力になることができればと思い今回
立候補しました。どうぞよろしく願いまし
ます。

植野洋子氏

昨年度は改めてS W J の定期発行推進を所信
としていました。しかし、結果としては昨年
度に発行すべき分の発行が遅れており、順調
には進んでいない状況です。今年度は編集
部の体制変更から3年目となりますので、

W e b会議などを活用して編集会議の回数を
増やすことで発行の意識を高め、皆さんか
らの意見も吸い上げながら、定期発行に向け
た編集部のサポートを行っていききたいと思
います。また、理事会運営としてもW e b会議
での定期理事会を引き続き行っています。今
年度も積極的に開催し、円滑な運営をサポー
トしていきたいと思ひます。定期会員総会に
は、体調の都合で出席することができません
。申し訳ありません。所信表明は以上で
す。よろしく願ひいたします。

黒瀬博靖氏

ジャグリング協会理事になってもう7年が過
ぎました。今回当選すると8年目に突入で
す。まずは昨年の振り返りです。所信表明は
次の3つでした。

1、講演会の充実
J J F 以外での講演会等も模索していたので
すが、残念ながら開催できませんでした。来
年度は構想から考えなおしてみます。

2、J J F 映像配信

Y o u T u b e のチャネ
ル h t t p s : / / w w w .
y o u t u b e . c o m / u s e r /
j a p a n J u g g l i n g . c o m / u s e r /
j a p a n J u g g l i n g . c o m / u s e r /
においてダイエースTM、イーピー、インタ
ビュー、予告編などを配信してみました。皆
さんご覧になっていたかどうか？

3、社会貢献への取り組み

昨年はA R J a p a n 「難民を助
ける会」様（h t t p : / / w w w .
a a r j a p a n . g r i p ）経由で
トルコに逃れたシリア難民の子供たちへ道具
の寄付を行いました。報告書もいただいてお
りますのでご覧ください。h t t p : / /
j u g g l i n g . j p / j j f /
j j f 2 0 1 5 / p d f / A A R . p d f
寄付してよかったと思いますよ。今年は次
の3つを考えています

1、CSにおける音楽利用規則変更による省
力化・スケジュール短縮、W e b配信の試行

にも会員の皆さんの協力をえるために定期的
な広報活動をしていると思っています。何をど
んなふう伝えれば皆さんが納得し、伝える
ほうの負担もさほどではないように持ってい
けるか一緒に考えましよう。助っ人求めま
す。

3、社会貢献への取り組み継続
現在カンボジアのソーシャルサカスとコ
ンタクトを取って道具寄付の打診をしてい
ます。寄付受け入れ可であればソーシャル
サカスおよび近郊の小学校への寄付とい
うことになると思います。こちらが不調に
なった場合は、また別の寄付先を探して継
続したいと思っています。そういうわけで
J J F 2 0 1 6 でも不要になった道具の寄付
を募ります。皆さんよろしく願ひします

私は協会理事として10年は皆さんのお役にた
とと思ってこまできました。皆さんの賛
同があればあと3年頑張ります。よろしくお
願ひします。

増田俊康氏

私、増田俊康は、日本ジャグリング協会理事
に立候補いたしました。
日本におけるジャグリング人口は、協会の発
足から今日まで、増加の一途をたどっており
、協会の大きな目標である、ジャグリング
の発展は、間違ひなく成功しています。そし
て協会の大きな事業の一つであるJ J F、中
でもチャンピオンシップは、最終予選に出る
こと自体が狭き門で、目標とされるなど、近
年、競技会のレベルが著しく向上しているこ
とは、周知の通りであります。

まもなく4年後、東京に於いて、世界最大の
スポーツ大会である、オリンピックが開催さ
れるわけですが、その際に、海外から訪れる
選手団や観戦者への、我々の対応が粗上に
のつております。これをジャグリングに当て
はめ、考えてみれば、今後、日本人ジャグ
ラーが海外へ進出する、あるいは海外からの
ジャグラーを受け入れることがますます増え
ていく中で、日本人ジャグラーが、世界の
中の立ち位置を考えなければいけない時期が
既に来ているのかもしれない。競技人口の
数でも、技術でもない、日本人ジャグラーの

JJF2016 実行委員名簿

実行委員長：

ハードバンチャーしんのすけ

JJF 担当理事：黒瀬 博靖

実行委員長補佐：奥村 優子

実行委員長補佐アシスタント：秋山
由佳里

翻訳・通訳：Darren Wakefield

ウェブ関連：松村 高朗

チャンピオンシップ事務局

チャンピオンシップ統括：黒瀬 博靖

事務局長：廣原 悠史

舞台監督：浅見 拓一知

会計：小林 亮介

メール対応：加藤 裕也

DVD 担当：小野口 貴仁

データ管理：泉 竜太

HP 管理：廣原 悠史

CSGS 舞台グループ

調整統括：関矢 昌宏

チケット責任者：奥村 優子

●チャンピオンシップ客席係

メイン担当：小永井 翠

サポート担当：荒井 深太

現場運営：ばさーじゅ

佐藤 瑞恵、堀 俊和、星野 圭祐、田

中 歩

斎藤 圭佑、花嶋 真悟、岩田 理生、

渡辺 柊

奥野 むつ美、西川 真帆、北村 友香、
古畑 翔

●パブリックビューイング客席係

メイン担当：秋山 由佳里

機材担当：関矢 昌宏

現場運営：infinity

神谷涼介、堀本 昇平、牧 健人、平城

裕隆

山口 寿理、黒河 万希子、平山 朝子

●チャンピオンシップ Youtube Live

機材担当：江藤 謙治

●ゲストステージ調整

メイン担当：黒瀬 博靖

サブ担当：奥村 優子

●ゲストステージ客席係

メイン担当：氷見 哲洋

サブ担当：奥村 優子

サポート担当：中村 亮介

現場運営：マラバリスト

石野 耀久、北脇 駿、小池 良、佐藤

千恵

椎名 峻平、菅 尚文、鈴木 仁、棚橋

悠

船越 由惟子、松野 聖也、山岸 大輝、

吉岡 岳洋

イベントグループ

調整統括：小林 智裕

●ワークショップ

メイン担当：徳川 亮祐

サポート担当：生田目 洋子

●体育館イベント

フリーパフォーマンス

メイン担当：今瀬 卓志／松村 高朗

サブ担当：氏家 道登／福澤 勇帆

エンデュランス

メイン担当：篠田大和

東京マトリックス：氷見 哲洋、西野

順二

ジャグラー体力測定：小林 智裕

ディアボロ検定：日本ディアボロ協会

ゲーム（借り物競走他）：西垣 美那

●小ホールイベント

小林劇場

メイン担当：小林 智裕

サポート担当：山下 耕平、大出彩恵、

結城 敬介

動画上映会

キュレーター：コータロー

ジャグリングジャムセッション

調整担当：奥村 優子

●ジャグリング協会企画講演会

企画調整担当：黒瀬 博靖、米屋 遊

大会本部グループ

●大会本部

メイン担当：奥村 優子

サブ担当：秋山 由佳里

当日運営：後藤絢子、たゆた、佐藤

大光子、案浦 彩華

●参加登録受付

統括担当：広幡 章登

事前調整：奥村 優子

当日運営：株式会社日本旅行

●宿泊係

メイン担当：井村 寛樹

サブ担当：鈴木 瑞穂

現場運営：@ jug

柿本 真司、勝木 弘樹、佐藤 拓海、

吉田 雄一

藤本 一嗣、文倉 篤志、富澤 和紀、
三橋 一輝

●その他

ショップ&いろいろ担当：米屋 遊

パッチコントロール調整：神庭 広希

海外参加者対応：青木 直哉、本多 祐

太郎 ほか

医療班：まささん、藤本 優

＊ウェブサイト写真提供：ビデオ撮
影班
ビデオ撮影班

撮影スタッフ

江藤 謙治、小野澤 峻、藤森 壮也、

加藤 悠

サポート担当：関矢 昌宏

Shall We Juggle? 編集部

編集長：たまきゆかり

副編集長：米屋 遊

編集員：くろせ、岡本 光平、いけや

ん

撮影班：本郷 仁一、瀬田 カズヒロ、

横坂 慎也、佐藤 恭子、大野 拓哉、

實方博一

顧問：夏目 鷗吉

主催：NPO 日本ジャグリング協会

理事長：本郷 仁一

理 事：黒瀬 博靖

理 事：矢熊 進之助

理 事：植野 洋子

理 事：湯川 英宜

監 事：松岡 寿典

顧 問：夏目 鷗吉

事務局長：広幡 章登

【参考】

JJF2016Web サイト

http://www.juggling.jp/jjf/2016/jp/

日本ジャグリング協会オフィシャルマガジン Shall We Juggle ? No.57

発 行 特定非営利活動法人日本ジャグリング協会 Shall We Juggle? 編集部

【Shall We Juggle? 編集部】

編集長 たまきゆかり

副編集長 米屋遊

顧問 夏目鷗吉

編集主幹 たまきゆかり

編集員 くろせ 岡本光平 しんのすけ

撮影 Kyoko 本郷仁一 よこさか Q 瀬田カズヒロ

西野順二 米屋遊 たまきゆかり

表紙 三原 貴嗣 (oboroworks)

レイアウト いけやん

編集協力 瀬田カズヒロ

協会誌担当理事 植野洋子

E-mail swj@juggling.jp

Web http://www.juggling.jp/swj/

【日本ジャグリング協会事務局】

E-mail info@juggling.jp

WebSite http://www.juggling.jp/

郵便為替口座 00100-10142916

(加入者 日本ジャグリング協会)

■各種お申し込み・お問い合わせは上記事務局までお願いいたします。

■本誌は日本ジャグリング協会の協会員に無料で随時送付されます。

■本誌バックナンバーをご希望の方は、まず事務局まで希望の号と部
数をお知らせ下さい。振込のご案内をお送りいたします。

JJF2017は福岡県福岡市にて開催！ Japan Juggling Festival 2017 in Fukuoka

日程：2017年9月22日（金）～9月24日（日）

場所：福岡県福岡市（福岡国際会議場）